

希望としての 「未来」につなぐ

会長 清水 道代

新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の出来事に、私たちの生活も大きな変革を余儀なくされています。同窓会員の皆様方も不安な日々をお過ごしのことと存じますが、つつがない日常を切に願うばかりです。

今春、同窓会は104名の新会員をお迎え致しましたが、3月の新幹事歓迎会は中止、理事総会も延期せざるを得なくなりました。同窓会事務局も閉室、同窓会の重要な事業の一つである夏の保育研修会も中止することになりました。研修会を楽しみにしてくださっていた会員の皆様方には心苦しい限りですが、何よりも会員そして在校生の安全と健康を最優先し決断致しました。そのような中で「ささぶね」34号が4か月遅れとなりましたがお届けできることは、同窓会に心を寄せて下さる役員の皆様はじめ、同窓会員の皆様方のお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

コロナ禍において、エッセンシャルワーカーと言われる社会生活を支えている人々に注目が集まり、不確実性の時代を生きる私たちは、これから乳幼児教育・保育を支えていくこと、未来社会を担う子どもたちに、自分の生きる世界は信頼に値するという希望の根っこを養うことの重要性を再認識するものとなりました。

同窓会は今後も歩みを止めることなく、全世界が人類にとっての生命、持続可能な社会のあり様を考えざるを得ない状況を創発の機と捉え、竹早で育ち、それぞれの

置かれた場で尽力されている皆様が更に絆を深め、会員同士のつながりを財産と思えるよう、そして、未来の保育者に希望の光が当たることを目指して進んで参ります。今後も母校と歩む同窓会の活動に一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

・令和2年度第20回保育研修会中止

例年実施しております同窓会主催の保育研修会は新型コロナウイルスの感染拡大により実施できませんでした。来年までお楽しみにお待ちください。

・維持会費報告とお願い

維持会費は、同窓会を発展させる原動力となっています。昨年度は、152名（2年3月31日現在）の方にご協力いただきました。厚くお礼申し上げます。詳細は同封の別紙をご覧ください。本年も皆様の温かいご協力をよろしくお願い致します。

・学生募集への協力（令和3年度）

母校の学生募集に協力しましょう。お知り合いに「幼稚園教諭・保育士」になりたい方はいらっしゃいませんか。お問い合わせは養成所事務局へお願い致します。

・母校保育研究発表会は現在未定

例年12月に開催しております保育研究発表会は、新型コロナウイルスの収束が不明のため、未定となっております。



本来、学校は 「三密」なれど

学校法人竹早学園

理事長 吉野 尚也



新型コロナウイルスによって一瞬にして日常を失い、昨年度の卒業生は何とか卒業式はできたものの謝恩会は中止、そして今年度の入学式はようやく七月十日に三回に分散して実施した。

四月からの授業は全て遠隔（リモート）となり、先生方はその対応に苦慮し、学生は在宅のままパソコンやタブレットで受講、前期は登校することなく過ぎ対面（リアル）できぬままに夏季休暇になってしまった。

学校は本来、密閉された教室などで教師と学生、又学生同士が親密に関わる「三密」の中で教育力が成立するものだけに、この失われた時間と空間はまさに慚愧である。

しかし、コロナウイルスは何十万年も前に人類よりも前に地球上に発生し、蝙蝠からネズミへ、そして人間へと感染し体内で増殖、致死率は約4%（ジョンズ・ホーリー・カトリック・カレッジ）というから驚異である。

されど、なんとしても学生には資格を与え、竹早からは感染者をださないとの意思統一を図っている。

～教務室だより～

教務室から学校の現状、学生の姿について 小川貴代子

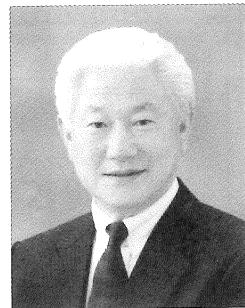
令和2年3月、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい感染拡大が懸念されるなか、令和になって初めての卒業生104名が夢への第一歩を踏み出しました。「子どもたちの育ちのために、子どもたちの未来のために」、それぞれの職場で活躍されることを願っています。

そして4月、保育者への夢を抱えた新入生98名の入学を在校生、教職員一同、心待ちにしていました。しかし、緊急事態宣言・要請を受け、4月には入学式を行うことは叶いませんでした。さらに、すべての授業を遠隔授業にて行うこととなりました。新形式の授業は、講義資料・課題提示型で行う遠隔授業、動画によるオンデマンド式、音声・映像による同時双方向のコミュニケーションが可能な方式の授業です。学生も教職員も初めてのことでの戸惑いながらも、必死に実りある学びになるように取り組んでいるところです。

どのような状況であっても、養成所の建学の精神である、「誠実にして、有為な幼稚園教員・保育士を養成する」という想いは変わりません。先の読めない不安な時代ではありますが、このような時代だからこそ、「子どもたちの未来を守るために」自分に何ができるかを考え行動していきたいと思います。

大切な想いを 繋げていきます

所長 齊藤 光一



昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響で学校の取組みは大きな変更を余儀なくされました。

今年の3月の卒業式は、卒業生と教職員だけで実施しました。新年度に入ってからは、4月の入学式と新入生歓迎会、5月の1年生の宿泊研修が中止となりました。

新年度の授業は、5月初旬から遠隔授業で行っています。学生の皆さんには、授業担当者から送付・配信されてくる課題に自宅で取り組んでいます。これまでの学生生活とは大きく異なる日常なので、学生の皆さんだけでなく、教職員も戸惑いの日々の連続でした。

このような状況の中でも、「子どもの気持ちをしっかりと受けとめ、受けとめた気持ちを言葉で返してあげることのできる保育者になってほしい」という同窓会の皆さんのが校生への想いを、学生に伝えていこうと教職員は心を一つに頑張っています。

先輩からのよき伝統を受け継ぎ、自らもまた新たな伝統を創っていくという学生の意欲を引き出し、一人ひとりを良き保育者に育てていきます。今後とも、同窓会の皆様の温かいご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

—令和元年度(平成31年度)同窓会のあゆみ—

3.20	平成30年度同窓会理事総会開催 第1回理事会
4. 2	新入生に同窓会案内〈エプロン贈呈〉
3	平成31年度竹早教員保育士養成所 入学式〈福田副会長出席〉
6.12	第1回正副会長会開催(事務局)
20	会報「ささぶね」同封資料印刷発送を業者へ依頼
7. 5	第2回理事会開催(保育研修会打ち合わせ)
27	第19回保育研修会開催 講師 文京学院大学 柄田毅
9.18	第2回正副会長会開催
11.13	第3回正副会長会開催
12. 4	第3回理事会開催(養成所保育研究発表会協力準備)
21	養成所保育研究発表会協力参加(1日目)
22	養成所保育研究発表会協力参加(2日目)
令和2年2. 5	第4回正副会長会開催(事務局) 【新型コロナウイルス感染予防のため】
3.12	卒業生オリエンテーション(中止) 新幹事歓迎会(中止)
16	(養成所卒業式教員、学生のみ)
25	第5回正副会長会開催 令和元年度 会計監査実施 令和元年度 同窓会理事総会延期

令和元年度活動報告

第19回 保育研修会

<テーマ> 「これからの保育—多様な子どもを受け止め豊かな育ちを支える保育—」

<日時> 令和元年7月27日(土)

10:00~15:00

<会場> 竹早教員保育士養成所第一校舎

<参加人数> 138名(本学学生1年101名、会員37名)

<主な内容及び時程>

○シンポジウム 10:15~12:30

「多様な子どもを受け止め豊かな育ちを支える実践事例から」

講師:柄田 肇 先生(文京学院大学教授)

話題提供・実践報告:明照幼稚園教諭 新井 貴子

ことぶきこども園保育教諭 古澤 幹寛

太田悌五郎

川崎市立大島保育園保育士 下山 泰史

内容・感想:

卒業生の3人からの実際の現場の中で保育者のかかわり、異年齢の中での育ち、保育の中の多様性などの視点で実践報告を聞く。その後講師の柄田先生より講評と共に様々な多様性についてお話を聞く。学生を巻き込む柄田先生の講義に在校生も真剣に対応する姿が印象的だった。参加者から多様性について改めて考えさせられる良い機会だった。との感想も寄せられた。

○ワールドカフェ 13:00~15:00

「これからの保育:現在・過去・未来、そして未来の子どもたち」

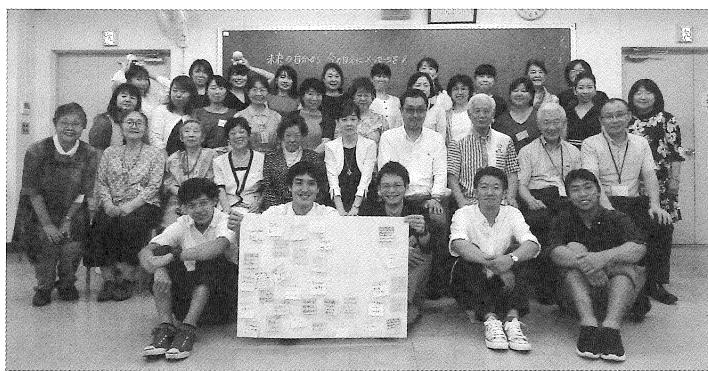
自分の昔や20年後の自分や社会についてグループのメンバーと語り合った。



—3人の卒業生が実践報告—



—講師まとめ—



—参加者記念撮影—



—グループでの話—

研究発表会への協力 “お休み処”

2019年12月21日(土)・22日(日)

今年も会長自ら、美味しいお菓子を探し吟味して購入してきてくださいました。

昨年も来てくださった地域の方も常連のようになり「今年も楽しみにしてきた」と言って来てくださいました。竹早が地域に愛されている感じは嬉しく思いました。



—理事長先生、卒業生と共に—

【平成31年度（令和元年度）竹早教員保育士養成所同窓会理事会組織】

役職	氏名	卒業年	役職	氏名	卒業年	役職	氏名	卒業年
会長	清水道代	S.57	理事	田中通子	H.8	理事	永野芙悠	H.31
副会長	福田多喜子	S.44	理事	森華代	H.15	理事	横堀葵	H.31
養成所教員副会長	中村香津美	S.55	理事	井上澄恵	H.16	理事	根元琴乃	H.31
副会長	鳩山多加子	S.46	理事	藤井大輔	H.24	理事	武井愛香	H.31
会計	岡川洋子	S.36	理事	岡本瑛	H.25	理事	塩崎千絃	H.31
養成所職員会計	山口直美	S.55	理事	梁本友華	H.25	理事	阿部奈緒美	R.2
会計監査	小野寺萬亜子	S.38	理事	大廣千秋	H.26	理事	生田萌々菜	R.2
会計監査	高原泰子	S.46	理事	武井彩香	H.27	理事	海原ななみ	R.2
養成所教員理事	小川貴代子	H.8	理事	渡邊綾乃	H.29	理事	高島柚香	R.2
理事	田中靖子	S.33	理事	酒井喜信	H.30	理事	上野楓佳	R.2
理事	今野君江	S.35	理事	伊礼あきら	H.30	理事	鈴木美紅	R.2
理事	釜井孝	S.39	理事	橋本小春	H.30			
理事	塚越アサ子	S.40	理事	安田萌衣	H.30			
理事	湯澤都与子	S.41	理事	大河原美和	H.31			
理事	清水百合香	S.55	理事	白井勇哉	H.31			
						事務局員	湯澤都与子	
						事務局員	岡川洋子	

事務局だより

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、母校におきましても3月半ばより休校になり事務局も休業状態になりました。同窓会としては、3月25日(水)令和元年度会計監査終了の後、数回の事務局会をもって活動中止となりました。現在再開していますが母校の意向に沿って同窓会の活動を行っております。一日も早い新型コロナウイルスの終息を願い、同窓会の皆様のご無事を祈っております。

事務局の仕事

- ①会報「ささぶね」編集発行
- ②会員名簿の管理・整理
- ③養成所関連事業協力
- ④維持会費徴収のお願いと活用

会員皆様へのお願い

- ①住所・氏名その他変更事項がありましたら、電話FAX等で事務局迄お知らせください。
- ②維持会費振込用紙に卒業年をご記入ください。

ささぶね 第34号

発行日 令和2年10月1日
 発行 竹早教員保育士養成所同窓会
 代表者 同窓会長 清水道代
 印刷 株式会社マチダ印刷

✿ 編集後記 ✿

新型コロナウイルスの影響は「ささぶね」発行にも大変大きな影響を受けることになりました。例年の発行日より大幅に遅れたことをお詫び申し上げます。

また原稿依頼をさせて頂いた直後から日常の生活が変化し、原稿収集に関してはすぐに確認できず多くの方々にご迷惑をおかけしました。重ねてお詫び申し上げます。このような状況の中、頂いた原稿が新型コロナウイルスの発生直後の方、拡散拡大中の方など状況が様々でした。ご了解頂ければと思います。

ベテランの「ささぶね」担当の方から急遽引継ぎ、分からぬことが多い中、沢山の方々のご協力のお蔭でここまで辿りつくことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

依頼した原稿が到着し紙面が埋まっていき完成に向かっていくのは大きな喜びでした。皆様方への感謝と共に、これからも一人一人のお力を集約してこの時期を乗り切っていけることを念じて編集後記とさせて頂きます。

同窓会事務局

《開局日 毎週水曜日 10:00～15:00》

〒112-0002 文京区小石川4-1-16

TEL/FAX 03-3813-7188

Email : dousoukai@takehaya.ac.jp

ささぶねひろば

世代を越え学び合い、
支え合っていく会員の交流の場です

会員の皆様にお声をいただきました

思い出続くよ どこまでも♪～



一学校生活の思い出、近況報告等

「85歳の近況」

和田 英子 (S35・3卒)

竹早を卒業後台東区竹町幼稚園に10年間先輩の先生方に助けられ育児と両立しながら勤務しました。流山市に転居することになり園長先生に無理にお願いし葛飾区に転勤させて頂きました。その間交通事故で右足首骨折や父母の死などで3ヶ月ほど休職しました。葛飾区4園を経験、同じ区内でも地域により園児や保護者に様々な傾向があることを学びました。退職後25年公務員連盟や退職校長会に所属し、現在千葉北部支部の副支部長を担当しています。また、近所の方と「ふれ合いの家」の行事に参加し、毎日楽しく過ごしています。

~~~~~

### 「52年前の思い出」

五島 たか子 (S45・3卒)

原稿依頼のお電話を頂いた時、在学していた当時のことが頭の中に浮かびました。小さな学校、午前・午後・夜間の三部制。私は午後部、殆どの生徒は午前中に幼稚園でアルバイトをして学校に来ました。縁台を細くした椅子に数人で出席簿順に座り、凛とした松石治先生の授業や机と椅子を脇に片づけリズム体操を学び、個室でピアノの指導を受けました。幼稚園の教育実習はとても下手で情けなかったことを思い出します。出席簿順の友とは生涯の友となりました。小さな学校でしたが希望に満ち溢れた2年間でした。

~~~~~

「初めての幼稚園との出会い」

嶋倉 美奈子 (S62・3卒)

昭和60年、私が通っていた頃の学校は竹早教員養成所と呼ばれ、午前部と午後部にわかれていました。幼稚園でアルバイトをしながら学校に通えるので午後部を選び、早速幼稚園を紹介してもらいました。毎日砂場で泥んこになって、伸び伸びと子供たちが遊ぶ園で、私も保育着をよく汚して一緒になって遊びました。子供たちと温かくかかわる先生方の姿が印象的で、私も将来、こんな先生になりたいと憧れをもって、アルバイトをしていたのが思い出されます。この幼稚園との出会いが、私の保育の原点で、今でも私の中に生きづいています。

「おばあちゃんの畑」

川村 美津子 (S40・3卒)

「おかえりなさい！今日は大根抜いていってね」保育園の迎えをした弟と学童から我家に一時帰宅した兄の孫2人で「おばあちゃんの畑」大根抜きが始まった。退職後は家事と稼業、孫の受け入れで朝から晩まで休みなしの15年間を過ごしてきた。その中で長年幼稚園に勤め、家庭生活で4人の子供や主人に手をかけられなかった分カバーできればと思うが畑の収穫物のように手を抜いた分は取り返せないもの。でも頑張れ「おばあちゃんの畑」で収穫できるものは大きい。いつまでも元気で笑顔でいらっしゃることで家族への感謝の気持ちを示していきたい。

~~~~~

### 「幼児教育への思いを胸に」

清水 百合香 (S55・3卒)

私は竹早卒業後、東京都公立幼稚園教諭として24年間幼稚園教育に携わっておりましたが、現在は大学で教員養成の仕事をしています。私が竹早時代に受講した授業の中では、特にリズム表現や絵画制作の授業が印象的でした。子供たちの姿を頭に浮かべながら、一生懸命に授業や課題に取り組んだことも貴重な思い出です。不思議なことに、心は学生時代より、今の方が若返っているようです。そして幼児教育の思いは、より深まっていると思います。今後も幼児教育の実践者として、さらに頑張ってまいりたいと思います。

~~~~~

「歌のちから」

木村 江美子 (H11・3卒)

4人家族の家事と育児・託児室でのアルバイトの合間にコーラスを楽しんでいます。このささぶねをお読みの皆様もよくご存知の「11ぴきのねこ」のミュージカル曲「なのだ」を教わった。♪やぶれかぶれで生きるんだ！ちゃかりぬけぬけいきるのだ！♪「自分におきかえると気持ちが入って歌いやすいわよ」とのアドバイスにギクリとする。義父と実母の認知症、夫の偏屈、子供の反抗期、自身のコーンンキ、、50女はまさしくやぶれかぶれ。次の練習日。誰よりも気持ちを込めて歌う。♪やぶれかぶれで生きるのだ！しょうこりもなく生きるのだ！

学びは続くよ どこまでも♪～



一研修会、研究会に参加してー

「同窓会の活動に一つの研修会」

糸 幸子 (S29・3卒)

会報「ささぶね」は昭和44年の同窓会創立30周年に会報として創刊されました。途中休刊しましたが平成13年から発行され現在5000部を卒業生や卒業生就職先等に送付しています。

「ささぶね」には同窓会の活動の一つの研修会報告を毎年載せています。開催は卒業生が参加しやすい7月実施が多く、午前中に「今を伝える」の講演を聞き、午後は会員同士の学びの場として「望ましい指導の在り方」について先輩の先生方にもグループに入って頂き話し合いをした時もありました。在校生も入り交流の場になる会もあります。毎年内容や方法は違いますが、今後も同窓会会員や在校生にとって学びや交流の場になることを願っています。

「学びは喜び」

東 智子 (S50・3卒)

毎年、同窓会の「ささぶね」の保育研修会のお知らせが気になっていましたが、今回初めて母校の学びの場に出席させて頂きました。テーマは「これから保育一多様な子供を受け止め、豊かな育ちを支える保育一」です。講師の文京学院大学の柄田先生の話を拝聴しながら、私自身に今、多様な視点があるのかとはっとさせられました。長い年月、保育現場にいると思い込みが強くなってしまい、多様な子供への理解が鈍ってそまっているのではないだろうかと、我が身を振り返ることができました。「知ってる」「分かってる」ではなく「分かっていることを実践できる」私でいたいと、強く意識しました。現在から未来に向かって「学び」の場を用意して下さった同窓会に感謝の気持ちでいっぱいです。

「出れば出るだけ出たくなる、かもしれない」

下山 泰史 (H26・3卒)

“休暇を使って研修に参加する”と言うと、大抵「勉強熱心だね～」という言葉が返ってくる。そう、熱心なのだ。むしろ在学時より熱心に学んでいるのでは?と思うくらいには。昨夏、同窓会から「研修会で話題提供してみないか」という話を頂戴いた際、二つ返事で飛びついた。元々出たがりな性格でもあるのだが、研修に出る度に保育の奥深さを感じられ、それが(ある程度)自分の力として還元される、そのサイクルの中で仕事をするのが楽しくもあるのだ。そしてこの同窓会という場だからこそ、構えずにそれでいて全力で発表できたのだとも思う。せっかくの母校開催の研修会なのだ。懐かしさや気楽さを感じつつ学べる場として今後も続けてほしい。

「現場で役立つ同窓会」

大野 みどり (S52・3卒)

竹早教員養成所を卒業してから40年近くなり、併設校のつづじがおか幼稚園に勤めていることもあります。その同窓会への参加も多く、温かい経験をさせて顶いています。

新卒当時の同窓会では、懐かしい恩師の方々との再会に心が躍り、同期生や諸先輩方の現場での話が参考になりました。また、校歌を歌うのも楽しみの一つでした。

最近の同窓会では、第1校舎の3階で在学1年生の参加もあり、現場で役に立つ講演や研究発表会が企画されて、今の学生の様子、興味関心事も感じられます。午後のワールドカフェでは大きな紙に思いを記す事で、自分の気持ちや色々な考えに気づき、『今の幼児教育現場』に役立つと改めて新鮮な気持ちになりました。私にとっては、母校の同窓会が今の幼稚園での生かしにも繋がり現場主義の本校に感謝しています。

「卒業後に保育研究発表会に行って」

太田 恒五郎 (H25・3卒)

現場に入ってから行く保育研究発表会は学生の頃とまた違う視点で楽しめると感じた。現場に出たことで知らない発表の内容は日々の保育で使える場面を思い浮かべたり、知っている内容は改めて深めたりなど自分のためになっていくことが実感できる。また、久振りに会う先生に今の悩みを打ち明けたり、話をしたりすること。同級の懐かしい友達と自分達が学生だった頃の話や現場に出ての情報交換をすることは、とても有意義な時間となった。毎年こうした会を行っているという事は学校として卒業生として糧になると思う。過去現在未来が繋がっていくためにも、このような場を関係者が意識して、古い新しいに問わず考え方や物を受け入れ、共有していくことが必要と感じた。

「現場に出てから研修を受けて」

白井 勇哉 (H29・3卒)

竹早卒業後、児童館で働き始めたが日により利用者が小・中・高校生の時もあり、関わり方に不安があった。そんな時竹早の研修会があり参加し、諸先輩の実践報告や多様性、不安に感じた関わり方の話もあり応用して中高生と関わることができた。今は学童保育で小学生と過ごしているが、研修会の話のお便りの作成や伝え方、遊びなど児童館でも参考になることがありとても良い研修会だった。遊びの種類を沢山知っていると子供の注目を集め指示も伝えやすくなることを最近強く思うようになった。今後は在校生にももっと参加しもらい、保育現場の発展につながってほしいと思う。

友達続くよ どこまでも♪～



一同期会、職場での同窓等

ママ、元気をだして

高橋 光子(大矢)

けんちゃんのママはシングルマザー。仕事を終えて迎えに来たママ。床に座り込み「子どもの成長した姿と一緒に喜んでくれる人がそばにいないことが一番辛いかなー」保育園に35年間務めた保育室での一コマでした。

保育

細田 和子(高橋)

50年前竹早教員養成所を卒業した年に保母試験を受け、町の公立幼稚園に24年間勤務しました。保育園の需要が高まる昨今、保育士の待遇は良くなつたものの民間は園庭もないジプシー保育園の問題もあります。せめて保育士の質の向上が子ども達の幸せにつながるようにこころに響く実践に強い保育者を竹早は育てて欲しいものです。OBも応援しています。

竹早のつながりとは

福田 多喜子(清水)

ある時、細田さんから「竹早を出たなら、協力して」と言われ同窓会に参加し、「つながり」の大切さを痛感しました。3・11の大震災のボランティアを立ち上げた時、義捐金やら紙芝居、日本舞踊の細田さん、長谷山さん、菊池さんに応援を頂きました。「竹早」を卒業した仲間たちはかけがえのない、つながりで「竹早魂」を貫いています。今や幼稚園、保育園の棲み分けなく、「子ども=保育」を重視した竹早の時流を応援していきます。同窓会の皆様、竹早生と竹早魂を誇りをもって「社会貢献」をしませんか。

会った時の様子

長谷山 純子(行田)

竹早44年卒、あれから50年。まるでこの間会ったように「変わらないわね」と1年に1度の同窓会。今年はどこに決めようと、その土地にいる同窓生と逢えたら最高。こうしたつながりが何年も続いていることに有り難さを感じます。そして毎年宇和島からくる彼女はどれだけのルートを使ってくるのだろうと。今年は私個人で松山まで行き、彼女も宇和島から来てくれて松山城を歩いたことは人のつながりの大切さをかみしめました。

かずちゃんありがとう!

柳田 瞳子(伊藤)

「竹早魂」の持ち主、かずちゃんの笑顔そして卒業後は「どうしてる。同級会あるよ!」と折に触れ声をかけてもらい苦難を乗り越え得られたとか。「仲間と共に和ちゃんの運営するディーサービス」に参加している。現在は鼻笛の仲間(平均86歳)かずちゃんの施設で一月一回「練習」に通っている。保育一筋で退職、笑いとヨガ、鼻笛で、老人で、障害施設等ボランティアをやっている。かずちゃんを見習って。凛としていた姿の松石先生を目指したいが…。笑いは百葉の長である。いいよ・笑いは。あははは。

竹早で培われたもの

綱島 みどり(長谷)

私の住む北杜市で開催した一昨年の同窓会。一晩借り切った古民家に各地から馳せ参じた11名が集い再開の喜びと懐かしさから夜遅くまで話込んだのを思い出します。各自50年の重きと輝き、現在も地域で活躍し続ける皆さん方、竹早で培われたものが脈々と流れている事を感じた会でした。

50年経ても

末永 珠江(島田)

「お名前はだれでしたかしら?」本当に久しぶりのお顔に、お互いの月日の流れを感じます。幼児教育の理想を目指して学んでいた頃、そして現場で働いていた私たちも子育て孫とのかかわりと。その中で多くのことを学んできました。今、その経験を通して共通の話題が生まれる幸せを改めて実感したいです。

ずっと続くよ! 「竹早に友情」

菊池 芳江(滝田)

44年度卒夜間部と午後の芳子さんのお仲間です。20数年前沖縄旅行(同期会)が始まり。その後、全国各地(長岡、京都、奈良、埼玉、名古屋、山梨、東京)にお住まいの方が幹事になり、宿、観光地を設定!青春時代に戻り、思い出話に花が咲きます。今年10月は箱根を予定。これからもずっと楽しみ!

志木のデイサービス「コンクリヤ」
笑いヨガ・鼻笛・紙芝居・日本舞踊
(竹早のお仲間と)の発表

**竹早魂の絆・つながり……社会福祉・社会貢献・協力
巣立つて50年(昭和44年卒)同期グループ**



「テラスの会」

神田 芳枝（S50・3卒）

私は竹早教員養成所を昭和50年3月に卒業しました。最初に勤務した幼稚園に「テラスの会」という職員の同窓会があります。それは54年度研究発表奨励を受けてことをきっかけに発足しました。メンバーに当時主任の吉村芳子先生（S28・3卒）同じく学級担任の鳩山多加子先生（S46・3卒）上野幸子先生（S48・3卒）伊藤智子先生（S50・3卒）と10名のうち私も含め5名の竹早養成所卒業生がいました。

テラスとは、部屋から庭や屋外に続く場所を指し明るく開放した空間をイメージできるおしゃれな言葉でもあります。この会が同じメンバーで現在まで約40年続いてきた理由には「心地良い集まり」になるように。この言葉が自然と仕向けてくれたのではないかと思えるのです。開催日、会場は毎回ほぼ決まっているので、当日次回の幹事を決め翌年に繋がるようにしていました。

「テラスの会」は七夕のような年に一度の集いです。保育、仕事、趣味、近況報告等、たくさんのおしゃべりを美味しい食事と一緒に楽しみ、元気に分かち合います。そして、いつも時間は速く過ぎ、名残り惜しみながら再会を約束し、帰路に向かうのです。



—テラス会のメンバー—

未来は続くよ どこまでも♪～



「同窓会幹事として」

阿部 奈緒美

今年度は謝恩会中止、卒業式も短縮しての挙行となりました。最後に別れを惜しむ時間も少なかった為、より一層友人や先生方との繋がりを大切に感じました。私は同窓会幹事として元同級生との繋がりを保ち、同窓会が情報交換や楽しみの場になるよう努力したいです。

—令和元年新理事（R2・3卒）—

「新幹事としての抱負」

生田 萌々菜

私は社会人となり、保育現場で働く中で、同じ夢を目指し学んできた仲間の存在の大切さを感じました。ですので、新幹事として学校と卒業生を繋ぐ架け橋としての役割を努めたいと思います。

「同窓会の幹事の思い」

海原 ななみ

今年の3月に竹早教員保育士養成所を卒業し、4月から保育園で保育士として働いています。数多くの卒業生を送り出した素晴らしい学校卒業生であることに誇りをもっています。幹事としてもっと竹早がよりよい学校になるよう支えていきます。よろしくお願いします。

「同窓会新理事を務めるにあたって」

上野 楓佳

初めまして。令和元年度新理事になりました上野楓佳と申します。この度は、同窓会事務局の皆様との顔合わせ会が中止となり残念な思いで一杯です。一日でも早く事態が終息し、皆様にお会いできることを楽しみにしております。どうぞ宜しくお願ひ致します。

「同窓会への思い」

高島 柚香

竹早を卒業し4か月が経とうとしています。気づけば竹早で過ごした2年間が想い出となり懐かしく感じております。今年度から同窓会員となりましたが、卒業生として竹早をより良くする為に務めていきたいと思いますので、宜しくお願ひ致します。

「新幹事になって」

鈴木 美紅

歴史の竹早教員保育士養成所の同窓生として幹事としていろいろな活動に参加できる事をとても嬉しく思います。今年から区内の幼稚園で働き始め、まだ戸惑うこともありますですが、先輩方の背中を追いかかけこれからの中児教育、母校の発展につなげていきたいです。